

6 各科目シラバス

科目選択コード	607100101	科目名	音楽Ⅰ	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	MOUSA ①(教育芸術社)			
	副教材	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社)			
到達目標	音楽の幅広い活動を通して音楽Ⅰにおける見方考え方を働かせ生活や社会の中の音楽や音楽文化と関わる資質能力を育成する。				
選択条件	①音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰの中から1科目選択し、履修します。 ②授業では様々なジャンルの曲を学習し、歌う力・楽譜を読む力を伸ばしながら豊かな表現力を身につけます。				
	【補足】				
授業内容	①腹式呼吸、発声法など基本から学びます。 ②ポピュラー音楽、日本の伝統歌唱、外国の音楽など様々なジャンルの曲をバランスよく歌唱します。 ③曲の雰囲気に応じた表現を学習します。 ④楽器(ギター・キーボード等)の技能を高め、アンサンブルに触れる喜びを体験します。 ⑤楽典、音楽史に関する理論を学びます				
学習方法	音楽の力をつけるためには、日頃から音楽に「親しむ」ことが大事です！ 積極的に授業に参加し、音を大事にしながら音楽を楽しみましょう！ ①世の中にはたくさんの音楽であふれています。日頃から、生活や社会の中で流れる音楽に、耳を傾けましょう。				
評価の観点	知識・技能	歌唱・器楽などの技術向上の基礎知識を学ぶ。簡単な楽譜を読む力を身につけ、器楽実技への取り組みを容易にする。			
	思考・判断・表現	自己のイメージを膨らませたり、他者のイメージに共感したりして音楽を形作っている要素や音楽の働かせ方について考える。また意図をもって表現をする。			
	主体的に学習に取り組む態度	様々な音楽活動を通して音楽や音楽文化に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。			
評価方法	知識・技能	実技テスト・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度・提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607110102(2年) 607110103(3年)	科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	MOUSA ②(教育芸術社)			
	副教材	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社)			
到達目標	音楽の幅広い活動を通して音楽Ⅱにおける見方考え方を働かせ生活や社会の中の音楽や音楽文化と関わる資質能力を育成する。				
選択条件	①音楽Ⅰを履修した生徒。 ②音楽Ⅰ同様、様々なジャンルの曲を学習し、豊かな表現力を身につけます。より深い音楽の知識を、幅広く学習します。				
	【補足】 音楽関係や保育科に進学を希望する者は選択して下さい。				
授業内容	①ポピュラー音楽、日本の伝統歌唱、外国の音楽など様々なジャンルの曲をバランスよく歌唱します。 ②曲の歌詞を理解し、豊かな表現法を学習します。 ③楽器(ギター・キーボード等)の技能を高め、奏法を学びます。 ④楽典、音楽史に関する理論を学びます。				
学習方法	積極的に授業に参加し、音を大事にしながら音楽を楽しみましょう！ ①歌唱力の向上を目指すには、常日頃から歌うことが大事です。音楽Ⅰで習得した発声法を、日頃から使って歌いましょう。 ②音楽には、たくさんのジャンルがあります。ジャンルにとらわれず、様々な音楽を聞きましょう。				
評価の観点	知識・技能	歌唱・器楽などを通して音楽の構造や音楽の多様性について理解を深めるとともに、音楽表現をするために必要な技能を身につける。			
	思考・判断・表現	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。			
	主体的に学習に取り組む態度	様々な音楽に主体的に関わり、愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、生活や社会を明るく豊かにしていこうとする。			
評価方法	知識・技能	実技テスト・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度・提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607120103	科目名	音楽Ⅲ	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	Joy of Music (教育芸術社)			
	副教材	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽(啓隆社)			
到達目標	音楽の幅広い活動を通して音楽Ⅲにおける見方考え方を働かせ生活や社会の中の音楽や音楽文化と関わる資質能力を育成する。				
選択条件	①音楽Ⅰ・Ⅱを履修した生徒。 ②音楽Ⅰ・Ⅱ同様、様々なジャンルの曲を学習し、豊かな表現力を身につけると共に、曲想を生かした表現を学びます。				
	【補足】 音楽関係や保育科に進学を希望する生徒は選択して下さい。				
授業内容	①ポピュラー音楽、日本の伝統歌唱、外国の音楽など様々なジャンルの曲をバランスよく歌唱します。 ②曲の構成・曲想を生かした表現を学習します。 ③楽器(ギター・キーボード等)の技能を高め、奏法の工夫を学びます。 ④楽典、音楽史に関する理論を学びます。				
学習方法	本当に音楽が好きな人は、ぜひ履修してください！ 積極的に授業に参加し、音を大事にしながら音楽を楽しみましょう！ ①音楽Ⅰ・Ⅱの集大成なので、歌いたい曲や弾きたい曲があれば挑戦してみましょう。そのために、日頃からたくさんの音楽を聞きましょう。 ②音楽は、表現することが大切です。好きな曲の歌詞をよく読み、思ったことを表現してみましょう。				
評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。			
	思考・判断・表現	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に様々な音楽活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う			
評価方法	知識・技能	実技テスト・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度・提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607130101	科目名	美術 I	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				
選択条件	①美術系の4年制大学・短大・専門学校進学希望者は、音楽 I、書道 I ではなく、できるだけ美術 I を選択したほうがいいでしょう。 ②「絵画・彫刻」、「デザイン」、「映像メディア」、「鑑賞」に関心があり、積極的に取り組み、自己表現力を高めたいと考えている生徒。				
	【補足】 美術系の進学の場合、実技試験が課せられる場合が多いので、できるだけ選択をしてください。				
授業内容	①基礎・基本としてのデッサンを学びます。 ②デザインの基礎を学びポスターを描き、コンクール等に出品します。 ③立体表現として、彫刻の中の塑像を学びます。 ④構想表現的な絵画を制作します。 ⑤鑑賞の授業を行い、美術の楽しみ方を学びます。				
学習方法	集中力を身につけましょう。良い作品を作るには「アイデアノート」を作り、常にアンテナを張り、アイデアをメモする習慣をつけましょう。 ①謙虚な気持ちで自然から学ぶ心を持ちましょう。 ②すべて観察するところからアイデアが浮かびます。自然はもちろん世の中のものにも関心を持ちましょう。 ③作品制作は、丁寧に誠実な気持ちで取り組みましょう。 ④自分の頭の中で考えただけではアイデアは浮かびません。展覧会、コンサート、演劇、読書など芸術作品に触れる機会を多く作りましょう。				
評価の観点	知識・技能	発想の元になる資料を多方面から収集し著作権法を認識し技法を活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本、東洋、西洋の美術史や技法について理解し、自作作品及び鑑賞作品を、製作意図、技法などから考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	授業内容に関心を持ち真摯な姿勢と態度で意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	(制作作品、レポート)			
	思考・判断・表現	(授業中の活動、作品、発表、提出物)			
	主体的に学習に取り組む態度	(授業中の活動、提出物)			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607140102(2年) 607140103(3年)	科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	高校生の美術 2 (日本文教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。				
選択条件	①美術系の4年制大学・短大・専門学校進学希望者は、できるだけ美術Ⅱを選択したほうがいいでしょう。 ②美術Ⅰの履修後選択できます。「絵画・彫刻」、「デザイン」、「映像メディア」、「鑑賞」に関心があり、積極的に取り組み、自己表現力をさらに高めたいと考えている生徒。				
	【補足】 美術系の進学の場合、実技試験が課せられる場合が多いので、できるだけ選択をしてください。				
授業内容	①基礎・基本としてのデッサン及び美術を楽しむスケッチを学びます。 ②抽象と具象の違いを学びます。抽象の基本表現を学び抽象画を描きます。 ③工芸デザインとして切り絵を制作します。 ④アジアや日本美術を調べ学習として学び、発表します。 ⑤日本画入門として水墨画を描きます。 ⑥鑑賞の授業を行い、美術の楽しみ方を学びます。 ⑦映像メディアを学びます。				
学習方法	集中力を身につけましょう。良い作品を作るには「アイデアノート」を作り、常にアンテナを張り、アイデアをメモする習慣をつけましょう。 ①謙虚な気持ちで自然から学ぶ心を持ちましょう。 ②すべて観察するところからアイデアが浮かびます。自然はもちろん世の中のことにも関心を持ちましょう。 ③作品制作は、丁寧に誠実な気持ちで取り組みましょう。 ④自分の頭の中で考えただけではアイデアは浮かびません。展覧会、コンサート、演劇、読書など芸術作品に触れる機会を多く作りましょう。				
評価の観点	知識・技能	発想の元になる資料を多方面から収集し、著作権法を認識し技法を活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本、東洋、西洋の美術史や技法について理解し、自作作品及び鑑賞作品を、製作意図、技法などから考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	授業内容に関心を持ち真摯な姿勢と態度で意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	制作作品、レポート			
	思考・判断・表現	授業中の活動、作品、発表、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607190101	科目名	書道 I	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	書 I (光村図書出版)			
	副教材	なし			
到達目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
選択条件	①芸術では、音楽 I・美術 I・書道 I の中から必ず1科目選択して履修する必要があります。 ②書に興味があり、書を通して自己を主体的に表現し、自己表現力を高めたい生徒。 ③美しい文字を書き、感性を高め、生活に生かしたい生徒。				
	【補足】 書道での進学を希望する場合は、必ず選択してください。				
授業内容	小・中学校で身に付けた書写能力(文字を正しく整えて読みやすく書くこと)をさらに向上し、「書道 I」では「表現」と「鑑賞」の二つの視点から学習していきます。 主な学習内容 ①漢字仮名交じりの書(漢字と仮名を調和して書くこと。) ②漢字の書(楷書・行書)、篆刻 ③仮名の書 ④作品制作				
学習方法	「書」は心の中にある風景をスケッチすることです。一つひとつの作品を大切な人へのメッセージと思い、表現してください。 ①書の手具・用材を大切に扱い、取り組む姿勢を大事にする。 ②文字の形にとらわれず、文字の意味や自分の思い描く心を大切に作る。 ③日頃から社会に目を向け、芸術作品、新聞や雑誌を見て感性を高める。 ④ことばとの出会いを大切に、日頃から心に残る言葉を書き留めておく。				
評価の観点	知識・技能	古典が制作された概要や時代ごとの書体、用筆法の変遷を理解し特徴的な字形や用筆法などを正確に臨書することができる。			
	思考・判断・表現	古典作品の諸要素や雰囲気を感じ取り、また技法等を正しく活用しながら、それに基づいて自分の書の表現に取り入れることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化に関心を持ち、真摯な姿勢と態度で書の表現や鑑賞の創意工夫に意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	テスト、作品			
	思考・判断・表現	作品、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	活動、発表、道具の取り扱い・美化意識			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607200102(2年) 607200103(3年)	科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	書Ⅱ(光村図書出版)			
	副教材	なし			
到達目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
選択条件	①「書道Ⅱ」は「書道Ⅰ」を履修済みの人が履修することができます。 ②書に興味・関心があり、書道Ⅰで学んだ基礎的な能力をさらに伸ばし、作品制作を通して、個性豊かな表現力を身につけたい生徒。 ③美しい文字を探求し、さらに感性を高め、生活に生かしたい生徒。				
	【補足】 書道での進学を希望する場合は、必ず選択してください。				
授業内容	「書道Ⅱ」では「書道Ⅰ」の学習を基礎にして、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばしていきます。 主な学習内容 ①漢字仮名交じりの書 ②漢字の書(篆書、隸書、草書、行書、楷書)、篆刻(刻字) ③仮名の書 ④作品制作				
学習方法	「書」は書く人により、また、書く時の感情や環境により、さまざまな表情をします。その表情を感じとることが大切です。 ①書の用具・用材を大切に扱い、取り組む姿勢を大事にする。 ②文字の形にとらわれず、文字の意味や自分の思い描く心を大事にする。 ③日頃から社会に目を向け、芸術作品、新聞や雑誌を見て、感性を高める。 ④自分の中から湧き出る言葉を常に書き留めておく。				
評価の観点	知識・技能	古典が制作された概要や時代ごとの書体、用筆法の変遷を理解し特徴的な字形や用筆法などを正確に臨書することができる。			
	思考・判断・表現	古典作品の諸要素や雰囲気を感じ取り、また技法等を正しく活用しながら、それに基づいて自分の書の表現に取り入れることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化に関心を持ち、真摯な姿勢と態度で書の表現や鑑賞の創意工夫に意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	テスト、作品			
	思考・判断・表現	作品、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	活動、発表、道具の取り扱い・美化意識			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607220102(2年) 607220103(3年)	科目名	ヴォーカルアンサンブル	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	様々なジャンルの曲にふさわしい、豊かな発声法を身に付ける。諸活動に主体的・協働的に取り組むことで、自分の声を知り、音楽を愛好する心情を育む。また歌うことによって生活を明るく豊かにしていこうとする。				
選択条件	①将来、音楽を必要とする職業に携わろうと思っている、音楽を趣味として生活に取り入れていきたいという生徒は選択を勧めます。				
	【補足】 将来、音楽を必要とする職業に携わろうと思っている、音楽を趣味として生活に取り入れていきたいという生徒は選択を勧めます。この科目では、1年次で「音楽Ⅰ」を履修しておくことが望ましいですが、個人のこれまでの音楽経験等によってはこの限りではありません。音楽の中でも、歌を歌うことに限定してテクニックや表現力を身に付ける授業ですので、歌うことが好き、歌がうまくなりたい人は履修してください。まずは一人一人のヴォーカル力やリズム感覚を高めることから始めます。確実な音程はもちろん、曲のメロディーや詩の持つ世界感を表現できるように身体やを使って声をコントロールできるようにトレーニングします。そののち気持ちよく「ハモる」ことの実践を目指していきます。				
授業内容	①腹式呼吸や発声の基礎を学ぶことで、喉に負担をかけずしっかり身体を使って声を出すことを身に付ける。 ②自分の音域を知り、練習曲等の課題を通じてその幅を徐々に広げていく。(身体を使っての歌唱を続けることで、音域は広がっていく) ③曲を歌いながら、言葉の扱い方や表現方法、リズムの感覚を身に付けると同時に、マイクの扱い方を覚える。 ④歌唱に慣れてきたら、簡単なハーモニー練習から始めて、ハモる感覚を覚えていく。 ⑤簡単なステップを取り入れることで、リズム感をさらに高め、表現の幅を広げる。				
学習方法	自分の声の特徴を知って、それを生かし歌うことができるようになると、自己表現の幅が徐々に広がります。一人で歌うのは恥ずかしいな、という気持ちも、積極的に練習を重ねることで大きな自信につながっていきます。そして気持ち良くハモることを練習・体感することでコミュニケーション力もアップします。実技の授業ですので、前向きに楽しむことを第一に参加してください。				
評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の多様性について理解を深めるとともに創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につけている。			
	思考・判断・表現	曲の構成や歌詞の内容を深く理解し、それに合った歌唱表現を行う。個性豊かに音楽表現を創意工夫し、音楽の良さや美しさを深く味わって聴くことができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、歌うことによって生活や社会を明るく豊かにしていこうとしている。			
評価方法	知識・技能	実技テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607230103	科目名	有明の伝統工芸	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	地域文化	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	工芸の造形的な見方考え方を働かせて、工芸的体験を深め、生活や社会の中の美術や地域の工芸文化と深くかかわる資質能力を身につける。				
選択条件	①有明地域文化に、興味・関心がある生徒。 ②座学と鑑賞、調べ学習、実技体験に関心がある生徒。 ③積極的に取り組み、自己表現力をさらに高めたいと考えている生徒。				
	【補足】 特に美術系の進学でなく地域文化に関心があり、その方面の進学を考えている生徒は、できるだけ選択をしてください。進学以外に地域文化に関心がある生徒も選択をしてください。				
授業内容	①伝統的工芸品とは何かをまず学びます。(経産大臣指定、県知事指定) ②大牟田の民・工芸品について学びます。 ③瀬高・柳川・大川の民・工芸品について学びます。 ④筑後・八女の民・工芸品について学びます。 ⑤久留米・三瀬の民・工芸品について学びます。 ⑥赤坂人形、黒崎ガラガラ、雉車、押し花などから選択して実技を行います。 ⑦工芸職人の特別授業があります。 ⑧八女伝統工芸館、久留米緋工房の見学に行きます。				
学習方法	①地域文化に関心を持って取り組むと楽しい授業になります。 ②日常生活で使っている工芸品(用の美)について、アンテナを張って考え、見ていきましょう。 ③地域の工芸品展示場所や販売所に行ってみましょう。(大牟田駅前の観光プラザ、瀬高駅構内、八女伝統工芸館、地場産久留米等)				
評価の観点	知識・技能	有明の伝統的工芸品について知識として習得し、配布された資料、PCの情報などを有効に活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本の伝統的工芸品について、諸課題を現代の文化、価値観の観点から考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	日本及び有明地域の工芸品に関心を持ち、課題意識を高め意欲的に研究することができる。			
評価方法	知識・技能	試験、発表			
	思考・判断・表現	授業中の態度、発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、発表、作品			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607240102(2年) 607240103(3年)	科目名	実用書道	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	実用の書範（高山草月堂）			
到達目標	生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、美しい文字を通して意思を相手に的確に伝えることができるようにする。伝統と文化についての理解を深める。				
選択条件	①「実用書道」は、「書道Ⅰ」、「書道Ⅱ」を履修していなくても履修することができます。 ②文字を基礎から学び、美しい文字を書きたい生徒。 ③手紙、はがき、のし袋、インテリア書等、日常生活の中の書を学び、生活に生かしたい生徒。				
	【補足】 就職を希望している生徒で、文字を書く機会が多くなる生徒は、できるだけ選択してください。				
授業内容	硬筆・毛筆の用筆・運筆、基本点画から学習し、日常生活で使用する様々な文書の美しい書き方を学んでいきます。 主な学習内容 ①漢字・仮名の基本(毛筆・硬筆) ②生活の中の書(手紙、はがき・封筒の表書き、招待状の返信、のし袋等) ③作品制作(インテリアに合う書)				
学習方法	文字を書くことは、人と人をつなぐコミュニケーションの手段の1つです。届ける相手にわかりやすく自分の意思を伝えることが大切です。 ①書の用具・用材を大切に扱い、取り組む姿勢を大事にする。 ②日頃から文字を正確に・読みやすく・美しく書くことを意識し、根気強く取り組む。 ③他者に文字を評価してもらい、意思が伝わっているか確認する機会を作る。				
評価の観点	知識・技能	文字の変遷や、実用的な書の背景、付随するしきたり等を理解し、形や技法に注意しながら、読みやすく美しい文字を書くことができる。			
	思考・判断・表現	資料にある字形や構成等の表現の仕方を参考に書の表現の諸要素を感受し、それに基づいて自分の表現を工夫することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	書の伝統や文化、ならびに実用的な書に関心を持ち、真摯な姿勢と態度で意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	テスト、作品			
	思考・判断・表現	作品、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	活動、発表、道具の取り扱い・美化意識			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607250103	科目名	陶芸教室	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	陶芸を通して、造形に対する見識と探求心を広げる。用具の特徴を理解し大切に扱う態度を養う。				
選択条件	①美術系の大学・専門学校進学希望者で、粘土での作品制作に興味・関心の強い生徒は選択してください。				
	【補足】				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○手びねりを通じての陶芸の基礎学習 ○ロクロでの成形を通しての量産食器の製造 ○オブジェの制作 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな角度から物事を観察し、創造力を養いましょう。 ○集中して授業に取り組み、粘土の感覚を早く身につけましょう。 				
評価の観点	知識・技能	製造や焼成についての基本知識を理解し、作品制作に取り組むことができる。			
	思考・判断・表現	自らのイメージを具現化することに真摯に取り組み、制作に反映することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	制作活動に集中し、一つ一つの作品を粘り強く着実に仕上げるることができる。			
評価方法	知識・技能	活動・提出物			
	思考・判断・表現	作品・テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	607260102(2年) 607260103(3年)	科目名	漫画入門	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	作品の制作を通して、それぞれの持つ個性や特徴を理解し、互いを尊重し合える心を育てる。芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。				
選択条件	①この授業では、漫画の基礎的な知識・技術を身につけ、自由でオリジナリティーあふれる作品作りを目標とし、学習していきます。漫画を創作することにより、読み手としてだけでなく、作家としての視点で漫画に関わることができ、今までとは違う新しい楽しさを知ることができます。 ②自らの創作活動に活かすことができるよう優れた作品を鑑賞し、漫画特有のユニークな表現方法・デッサンの技術を高めめます。				
	【補足】	大学には漫画学科などのコースも増えています。			
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な創作手順を学びます。 ・テーマ・キャラクター・構成・コマ割り等のアドバイス ・さまざまな道具の使い方 				
学習方法	極めて簡単です！ 紙とペン、それと畳一帖分のスペースもあれば誰でも漫画は描けます。細かいテクニックや知識を身につけるのは後回し！ まずは描く！「絵が下手」＝「漫画も下手」というのは勝手な思い込みで、アイデア次第でいくらでも描けることを学びます。「誰かのマネ」ではなく「自分らしさ」を大事にして素直な漫画を描いてください。				
評価の観点	知識・技能	芸術表現としての漫画の意義について理解し、漫画独特の表現やその技法についてその良さを感じることができる。			
	思考・判断・表現	個性を尊重しながら生活や文化と関連づけて、主人公の心情を表現し、構成を工夫して読者に伝えようとすることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	漫画の制作を通して、主体的に創造活動に取り組み、工夫して表現しようとするすることができる。			
評価方法	知識・技能	作品			
	思考・判断・表現	作品			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動			

6 各科目シラバス

科目選択コード	623130102(2年) 623130103(3年)	科目名	素描	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	作品の制作を通して、それぞれの持つ個性や特徴を理解し、互いを尊重し合える心を育てる。芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。				
選択条件	<p>①この科目は、造形表現の基礎となる観察力や把握力を深め、形態や空間などの的確な表現力を高めることを目標としています。デッサンすることを通して、観察する能力を養います。</p> <p>②美術系に進学を希望する人は、入試にデッサンが出る場合が多いので、選択した方がよいでしょう。</p> <p>③美術選択をしていなかった人でも素描を選択できます。</p>				
	<p>【補足】 美術系大学・短大の入試には必ず必要です。他にも大学の工学部建築学科や歯科技工士の学校でも必要となります。</p>				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物の形や調子を正確にとったり、造形的な成り立ちを学びます。 ・木炭や鉛筆など道具・材料の使い方を学びます。 ・モチーフ(対象物)がもつそれぞれの物質の違い、質感と光の関係、画面の大きさ等を考え、構図を決める方法を学びます。 ・全体の色彩のバランスを考えることを学びます。 ・日頃から対象物をよく観察することの大切さを学びます。 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・形をしっかりと描くために、モチーフをよく観察しましょう。 ・初心者は物を部分的に捉えがちです。全体を把握しましょう。 ・集中して作品制作に取り組みましょう。 ・授業時間のみでは受験対策には不十分なので、自分でもデッサンの練習を継続してください。 				
評価の観点	知識・技能	対象の良さや美しさを把握し、個性を活かした表現ができる。			
	思考・判断・表現	自他のものの見方や感じ方の相違などを理解し、工夫して表現しようとする。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に考え、積極的に作品の制作や創造表現を工夫しようとする態度。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動、作品			
	思考・判断・表現	授業中の活動、作品			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度			